

图书基本信息

书名：《門》

13位ISBN编号：9784101010069

10位ISBN编号：4101010064

出版时间：1948-11

出版社：新潮社

作者：夏目漱石

页数：231

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《門》

内容概要

「誠の愛」ゆえに社会の片隅に押しやられた宗助とお米は、罪の重荷にひしがれながら背をかがめるようにひっそりと生きている。宗助は「心の実質」が太くなるものを欲して参禅するが悟れない。これは求道者としての漱石じしんの反映である。3部作の終篇であると同時に晩年における一連の作の序曲をなしている。

精彩短评

1、この作品によって私も「日常」という物の実質を考えさせられている。波乱万丈の過去を、何かが潜んでおそいかかってくるような未来と繋ぐものは、私たちの慣れ親しんだ「日常」であるが、そこにはあるものが気づかぬうちに変わりつつ、突然見知らぬ形で目の前に現れる不安がある。小説の主人公は、その耐え難い不安をすこしでも軽くにさせようと禅寺の門に潜ったが、結局は何ごとも起こらない、また何ごとも解決しなかった。「門」を開ける能力（不安を乗り越える）も、「門」を通らないで済む勇気（不安を顧みず）も、彼にはなかった。結局、彼は門の下に立ち竦んで、何も出来ない不幸な人間になってしまう。ちなみに、私も仏教の力で「父母未生以前本来の面目は何だか」という公案を考えてみようと思う、果たして悟るかどうかはわからないが.....

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:www.tushu000.com